

〒110-0012 東京都台東区竜泉1-20-19
発行所 真宗佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
<http://saitokuji.tobiro.jp/>
発行人 脇阪 義幸
印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



暮らしの中の仏教



コロナ禍の三社祭 御神靈移御

今月の予定

11月

- 3日(火) 午後2時 第9回燈虹塾
「江戸吉原二調鼓 師範:吉田睦子」(オンライン開催のみ)
- 7日(土)、8日(日) 西徳寺報恩講(内勤め)
- 18日(水) 午後1時半 婦人会聞法会
- 21日(土) 午後1時半 定例聞法会
- 21日(土) 午後6時 同行会「宗祖親鸞聖人」に聞く
法話:大橋 伊知郎



※予定は変更することがあります。また、コロナ禍でありますので、直前に中止する場合があります。
詳しくは寺務所までお問合せください。



えこおファイル在庫あります。

11月の山門の言葉

思い立った瞬間 そこは出発点

桜井 和寿 (Mr.Children「跳べ」)

私も簡単な棚を作つてみた。いつもなら適当にネット注文して終わるのだが、コロナによる自粛生活がそうさせたのだろうか、「よし、作つてみよう」と思った。YouTubeで作り方を調べ、ノコギリと木板を買いぎこちなくも完成。取り掛かると確かに大変だけれども、それから棚を見る目が変わつた。一体どうやって作ったのだろう、ノコギリの使い方は、クギの打ち方はどうしているのだろうと観察するようになつた。

何かを始めるにはきっかけがいる。そのきっかけをつかむことは難しい。まして、そこから第一歩を踏み出すことも。反対にいえば、きっかけさえ掴めれば、第一歩さえ踏み出せられれば、新しい視野が見つかり次の一步を踏み出せられる。思い立つて始めて、続かない者を三日坊主と軽蔑されるが、一日でも、一回でも出来たならば上出来ではないだろうか。

コロナという環境、誰かのささいな一言……、きっかけはいつでもどこにでも、誰にでも与えられている。表題の言葉は「滑り台の上 ベンチの上 思い立つた瞬間 そこは出発点」という歌詞より。今から十五年も前の歌である。当時は何も響かなかつた言葉が、今になつて自分の背中を押している。

(高橋 淳 記)



今までコスパという考え方に対する疑問を持ったことはありませんでした。そして、コスパを考えない訳にいかない自分が見えました。「間を生きている」という事が、なんとなく分かったような気がします。

コロナによって浮き彫りになった人の問題点を自覚する事から、「人間」は始まるのかなと感じました。 (30代男性 会社員)

十月に掲げた
山門の言葉を
皆さんはどう聞いたのか、
お尋ねしました。

みんなは
こう聞いた!!



「間」の字が「あいだ」とも「ま」とも読めるのではないかと気になりました。どちらにしても、自分とほかの人とで、「間」がおかしいと、何をするにしてもうまくいかないと気づくことができました。

(20代男性 学生)

皆様の代わりに、お花・お線香等、お墓にお供えできます。



かりんとう 浅草小桜

創業66年、誕生は浅草の老舗料亭「福し満」の手土産でした。当時料亭の手土産は和菓子がメインでしたが、持ち帰る頃には硬くなってしまう問題があったそうです。そこで先代の女将がかりんとうに着目されたそうです。元来の太い物ではなく、画家竹久夢二の美人画の華奢さをモデルとし、料亭の高貴なイメージを崩すことなく、繊細で上品な味わいと彩りの豊かさが特徴的な「ゆめじ」を生み出しました。その噂は料亭界隈に口コミで広がり、多くの料亭の土産として用いられ、マスコミにも取り上げられるほどでした。平成元年より本格的に店舗を構え、遠近問わず多くの方が足を運んでおられます。包装紙にもこだわっておられ、浅草の古き良き粋な文化を今に伝える小桜さんのかりんとう、一度味わうと虜になること間違いないです！（蓮井 邦宗 記）

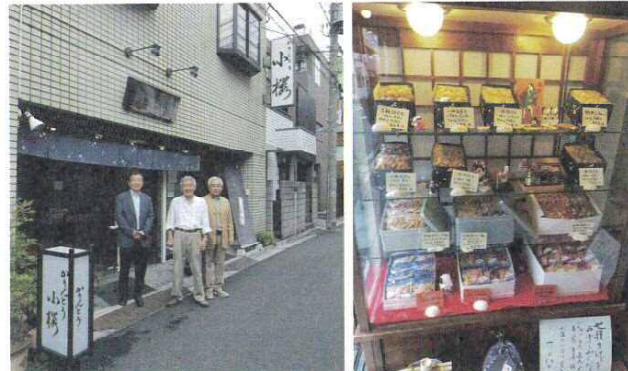
かりんとう 浅草小桜
〒111-0032 東京都台東区浅草4-14-10
TEL: 03-5603-5390
FAX: 03-3875-3434
営業時間: 10:00~17:30
定休日: 日曜



お斎ナビでは西徳寺にご法事、またはお参りに来られた方が立ち寄れる飲食店をご紹介しています。

今回は、いつもお寺にお花を納めていただいている「花吉生花店」の榎本隆様、お供えの果物・自動販売機の管理をお願いしている「町田商店」の町田俊様おすすめのお土産物です。皆様の中にも、お顔をご存知の方がいらっしゃるかもしれません。

気になる物があれば、皆様どうぞお参りの際にお立ち寄りください。



浅草をこよなく愛する代表取締役の井田様(中央)

こだわりが詰まった商品



昔の呉服屋さんのような店内が素敵です



小桜オリジナルの「ゆめじ」

竜泉 おし田

お寺から歩いて3分。お寺と同じ竜泉にあります「おし田」は、創業が明治43年という田舎まんじゅうのお店です。初代店主が川越出身で、昔は川越の蒸かし芋を販売していたそうです。芋のシーズンが終わった春にまんじゅうを作っていたのだとか。

常連客に請われて、10代の頃から店を引き継いだ3代目店主が、今は奥様と2人で營んでいらっしゃいます。こだわりは添加物を一切使用しないことと、北海道産の小豆。久しぶりに来たお客様に同じ味を味わってもらいたいという思いから、ずっと変わらない製法を続けておられます。

看板商品の田舎まんじゅうは、つなぎを使っていないモチモチの皮に、甘さ控えめの潰し餡がたっぷり入っています。素朴ですが、力強さを感じるおまんじゅうです。

酉の市の時だけ水ようかんもあるそうです。私、仲井もよく立ち寄る大好きなお店です。ぜひ一度ご賞味ください。（仲井 真裕 記）

竜泉 おし田
東京都台東区竜泉3-10-8 (樋口一葉 旧居前)
TEL 03-3873-6557
営業時間 9:00~18:30
定休日 毎週日曜日



紹介者と店主夫妻



普通のおまんじゅう「白まんじゅう」もあります



できたての田舎まんじゅう

「一代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。

燈虹塾報告「吉原散策」

去る10月18日吉原散策を開催いたしました。
コロナ禍、道幅などを考慮して10名定員とさせて頂きました。

【コース紹介】

待乳山聖天(まつちやましょうでん)集合→山谷堀水門→山谷堀公園→見返り柳・吉原大門→仲の町→吉原神社→弁天様解散

お天気にも恵まれ、途中、吉原会館(町会)にて休憩をさせて頂きました。ナビゲートの不破様、吉原様は地元の方の為、幼い頃の吉原界隈のお話しにリアリティーがあり私自身も楽しませて頂きました。

散策は人気が高く、あっという間に定員になりました。今後は、頻度をあげ、皆様に順次ご参加いただけるよう考えております。また、今回とは違うコースも考えております。

それでは今後とも燈虹塾、ご聴属に!

燈虹塾事務局長 山崎 哲



えこお志お礼

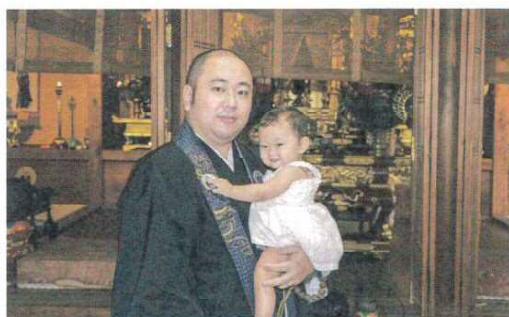
台東区	飯高 多嘉子 様
板橋区	木下 好江 様
葛飾区	小松 正秀 様
北区	小山 光子 様
鎌ヶ谷市	鈴木 秀夫 様
葛飾区	宮崎 佐久惠 様
新潟県	横山 淑子 様

ご淨財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせて頂きます。



～よろこび合う生活～

先日長女の初参式を勤めました。一般的にはお宮参りが主流ですが、お寺でも初参りのお祝いをします。コロナの影響で家族のみでのささやかな式となりましたが、みんなが娘の成長を喜んでいました(本人は機嫌が悪かったのか大泣きました)。あらためていろいろな人の関わりの中を生きていることを感じました。娘にもさまざまな出逢いを大切にし、すくすくと育ってほしいと願うばかりです。



(蓮井 邦宗 記)

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

saitokuji@ce.wakwak.com



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook